



平成 18 年 9 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 18 年 8 月 7 日

上場会社名 株式会社 ピクセラ

（コード番号：6731 東証第一部）

（URL <http://www.pixela.co.jp/>）

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長

藤岡 浩

責任者役職・氏名 取締役経営企画室長

御前 仁志

T E L : (06) 6633 3500

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
税金費用の計上については、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
(連結：新規 3 社、持分法：除外 2 社)

2. 平成 18 年 9 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 17 年 10 月 1 日 ~ 平成 18 年 6 月 30 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 9 月期第 3 四半期	6,238	(12.1)	437	(-)	589	(-)	583	(-)
17 年 9 月期第 3 四半期	5,564	(-)	117	(-)	243	(-)	277	(-)
(参考)17 年 9 月期	8,006		62		110		155	

	1 株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
18 年 9 月期第 3 四半期	53	53	-	-
17 年 9 月期第 3 四半期	25	20	-	-
(参考)17 年 9 月期	14	14	-	-

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期の売上高は、62 億 38 百万円（前年同期比 12.1% 増）となりました。製品売上部門においては、主力製品であるテレビキャプチャーボードの OEM 供給対象であるパソコン市場で、期待されていたサッカーの W 杯需要が薄型 TV や DVD レコーダーに流れたため出荷台数が落ち込み、数量面では期初計画に及ばなかったものの、付加価値の高い地上デジタルテレビキャプチャーボードの OEM 供給は堅調に推移したことにより増収となりました。一方、ソフトウェアロイヤリティ部門においては、デジタルカメラの買い替え需要や高機能デジタルビデオカメラの新製品発売に支えられ、ほぼ計画どおり推移しました。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、地上デジタルテレビキャプチャーボードの飛躍的な普及を果たすべく、デジタル・アナログ両放送対応キャプチャーボードやワンセグ製品の開発を行い、4 月からの OEM 供給を実現いたしました。また新たな事業分野を創出すべく、Windows CE 上でデジタル AV 家電のためのテレビソリューションの開発を開始いたしました。

利益面につきましては、株式会社 RfStream を連結子会社としたことや、デジタル放送対応機器等の新製品に係る開発費および関係会社の投資持分損失等により、営業損失 4 億 37 百万円（前年同期 1 億 17 百万円の損失）、経常損失 5 億 89 百万円（前年同期 2 億 43 百万円の損失）、第 3 四半期純損失 5 億 83 百万円（前年同期 2 億 77 百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況 (百万円未満切捨)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
18年9月期第3四半期	9,609	5,276	53.7	473 07
17年9月期第3四半期	8,431	5,824	69.1	528 72
(参考) 17年9月期	8,705	5,888	67.6	540 38

(注) 17年9月期第3四半期及び17年9月期の数値については、従来の「株主資本」を「純資産」の欄に、「株主資本比率」を「自己資本比率」の欄に、「1株当たり株主資本」を「1株当たり純資産」の欄に記載しております。

【連結キャッシュ・フローの状況】 (百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年9月期第3四半期	47	10	404	3,001
17年9月期第3四半期	372	411	226	2,769
(参考) 17年9月期	527	468	291	3,440

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当四半期における総資産は、96億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億4百万円増加いたしました。また、純資産は6億11百万円減少し、この結果、自己資本比率は53.7%となりました。

・キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、47百万円の支出（前年同期に支出した資金は3億72百万円）となりました。これは、売上債権が4億57百万円減少し、仕入債務が4億55百万円増加したものの、税金等調整前四半期純損失が5億89百万円あったこと及びたな卸資産の増加が6億1百万円あったこと等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、10百万円の増加（前年同期に支出した資金は4億11百万円）となりました。これは、有価証券・投資有価証券の取得による支出が2億32百万円あったものの、関係会社を子株式したことによる資金増加が3億78百万円あったこと等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、4億4百万円の支出（前年同期に支出した資金は2億26百万円）となりました。これは、配当金の支払や関係会社の借入金の返済による支出等があったことによるものであります。

3. 平成18年9月期の連結業績予想（平成17年10月1日～平成18年9月30日）

通期の連結業績につきましては、主力のTVキャプチャーボードについて、国内パソコン市場の弱含みが懸念されるものの、第4四半期にデジタル対応機種種の秋・冬モデルの出荷拡大が見込まれることから、平成18年5月18日に公表致しました業績予想に変更ありません。

上記予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は業況の変化や予定されております連結子会社、株式会社RfStreamの増資の結果等により、予想数値と異なる可能性があります。

【 参 考 】

平成 18 年 9 月期第 3 四半期財務・業績等の概況（個別）(平成 17 年 10 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日)

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 9 月期第 3 四半期	6,238	(12.1)	267	(-)	268	(-)	273	(-)
17 年 9 月期第 3 四半期	5,564	(0.5)	111	(-)	113	(-)	147	(-)
(参考) 17 年 9 月期	8,006		61		71		26	

	総資産		純資産		自己資本比率		1 株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
18 年 9 月期第 3 四半期	8,813		5,727		65.0	524	89	
17 年 9 月期第 3 四半期	8,640		6,034		69.8	547	84	
(参考) 17 年 9 月期	8,791		6,144		69.9	563	89	

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示します。

(製品分類別売上高)

(単位：百万円)

	平成 18 年 9 月期 第 3 四半期		平成 17 年 9 月期 第 3 四半期	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
製品売上	5,249	84.1	4,707	84.6
ソフトウェアロイヤリティ	790	12.7	716	12.9
受託開発	198	3.2	139	2.5
合 計	6,238	100.0	5,564	100.0

(注) 前年同期では、ハードウェア製品とソフトウェア製品を別掲しておりましたが、これらを合計し、「製品売上」として表示しております。

添付資料

(要約) 四半期連結貸借対照表、(要約) 四半期連結損益計算書など

以 上

〔添付資料〕

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成18年9月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成17年9月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成17年9月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産					
現金及び預金	3,001	2,769	231	8.4	3,440
受取手形及び売掛金	3,204	3,299	95	2.9	3,615
たな卸資産	1,103	565	537	95.2	469
繰延税金資産	115	67	48	71.3	76
その他	298	265	32	12.4	159
流動資産合計	7,723	6,967	755	10.8	7,760
固定資産					
有形固定資産	189	154	34	22.4	151
無形固定資産	886	44	842	-	42
投資その他の資産	811	1,264	453	35.9	750
固定資産合計	1,886	1,463	422	28.9	944
資産合計	9,609	8,431	1,178	14.0	8,705
(負債の部)					
流動負債					
買掛金	2,514	2,286	228	10.0	2,050
その他	1,618	146	1,472	-	417
流動負債合計	4,132	2,432	1,700	69.9	2,467
固定負債					
役員退職慰労金引当金	199	174	24	14.0	181
その他	0	-	0	-	167
固定負債合計	200	174	25	14.5	348
負債合計	4,333	2,607	1,726	66.2	2,816
(資本の部)					
資本金	-	2,555	-	-	2,556
資本剰余金	-	3,211	-	-	3,211
利益剰余金	-	115	-	-	237
その他有価証券評価差額金	-	0	-	-	1
為替換算調整勘定	-	1	-	-	8
自己株式	-	60	-	-	127
資本合計	-	5,824	-	-	5,888
負債及び資本合計	-	8,431	-	-	8,705
(純資産の部)					
株主資本					
資本金	2,560	-	-	-	-
資本剰余金	3,217	-	-	-	-
利益剰余金	469	-	-	-	-
自己株式	125	-	-	-	-
株主資本合計	5,183	-	-	-	-
評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金	23	-	-	-	-
為替換算調整勘定	2	-	-	-	-
評価・換算差額等合計	21	-	-	-	-
少数株主持分	114	-	-	-	-
純資産合計	5,276	-	-	-	-
負債及び純資産合計	9,609	-	-	-	-

2.(要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 自平成17年10月1日 至平成18年6月30日	前年同四半期 自平成16年10月1日 至平成17年6月30日	増 減		(参考) 平成17年9月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	6,238	5,564	674	12.1	8,006
売上原価	5,018	4,343	675	15.6	6,099
売上総利益	1,219	1,220	1	0.1	1,906
販売費及び一般管理費	1,657	1,338	319	23.9	1,843
営業利益又は営業損失()	437	117	320	-	62
営業外収益	23	23	0	0.8	39
営業外費用	175	149	25	16.8	212
経常損失	589	243	345	-	110
特別損失	-	-	-	-	2
税金等調整前四半期(当期) 純損失	589	243	345	-	113
法人税、住民税及び事業税	9	4	4	108.8	52
法人税等調整額	4	29	34	-	10
少数株主利益	10	-	10	-	-
四半期(当期)純損失	583	277	306	-	155

3.(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当四半期 (平成18年9月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成17年9月期 第3四半期)	(参考) 平成17年9月期
区 分	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期純利益	589	243	113
減価償却費	68	59	80
持分法による投資損失	115	123	181
売上債権の増加・減少額	457	252	565
たな卸資産の増加額	601	316	231
仕入債務の増加額	455	790	551
その他	43	82	5
小 計	135	79	90
利息及び配当金の受取額	6	0	16
利息の支払額	1	-	-
法人税等の還付・支払額	82	453	453
営業活動によるキャッシュ・フロー	47	372	527
投資活動によるキャッシュ・フロー			
固定資産の取得による支出	94	92	98
有価証券・投資有価証券の取得による支出	232	-	60
関係会社株式取得による収入・支出	378	25	25
その他	40	292	652
投資活動によるキャッシュ・フロー	10	411	468
財務活動によるキャッシュ・フロー			
株式の発行による収入	8	0	1
借入金の返済による支出	300	-	-
配当金の支払による支出	116	165	166
その他	3	60	127
財務活動によるキャッシュ・フロー	404	226	291
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	8	19
現金及び現金同等物の減少額	439	1,002	331
現金及び現金同等物の期首残高	3,440	3,771	3,771
現金及び現金同等物の期末残高	3,001	2,769	3,440